令和５年度 学校関係者評価委員会の報告

菊川市立菊川西中学校

1 期 日　令和６年２月 22 日（木）

2 学校評議員との懇談

(1) 授業参観の生徒の様子について

・授業では３年生が一番明るく、楽しい。

・特色があって楽しい授業であった。

・１年生の授業では、生徒の興味を引き、答えが１つでない内容であったのがよかった。

・欠席が前回より少なかった。学校に来られる子が増えていてよかった。

・美術のものづくりをする授業、音楽の和楽器の授業など、中学校時代にいろいろな体験（経験）をすることはとても大切なことである。和楽器など、触れたことのないものを弾けるのは、生徒にとってよい思い出となり、生徒自身もそのことについて語れるようになる。中学校のうちに、いろいろな体験をさせてほしい。普段体験できないようなことを、学校で体験できることは大切である。

・昔は一言も生徒が話さない授業が多かったが、今の授業はグループなどで話すことが多く、脳が活性化するのでよい。ただ、中には一人で考えたい子もいるので、そのような子のための時間の確保も必要になってくるのではないか。

・授業において、口に出してものをいうことや、書くことは大事。昔は一言も生徒が話さない授業が多かったが、今の授業はグループなどで話すことが多く、脳が活性化するのでよい。ただ、中には一人で考えたい子もいるので、そのような子のための時間の確保も必要になってくると思う。

・文章問題が苦手な子が多く見られた。文章を読み取る力には課題が見られる。

(2) その他

・最近の若者は遊びがなく、想像力が弱く、視野が狭い。答えを出すのは早いが、応用が利かないことが多い。昔は正しい１つの答えを出すことが多い時代だったが、今はあいまいで終わったり、人の気持ちを考えたりすることが大切だと思う。

・SNS が盛んになり、その使い方について大人が教えづらい、教えるのが難しくなってきた。また、ICT ですぐに調べると答えは出てきやすいが、考える力が伸びなくなってくるのではないか。

・これからの時代、学校も LGBT への配慮が必要になり、考えていかなくてはいけない。

・大人になってからの引きこもりは、小中学校の時期、まわりに受け止める大人がいれば変わるのではないか。教師の役割は大きく、期待している。

・中学校は（コロナ禍の影響もあり）親同士のつながりが少ない。また、親にも余裕がない。自分の子どもの様子も、親同士のネットワークがあれば、情報を仕入れやすいので、親同士のつながりを増やし、大切にしていきたい。